

小泊地区水産物供給基盤機能保全事業
事業計画平面図

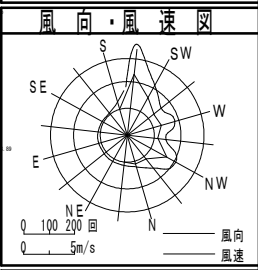
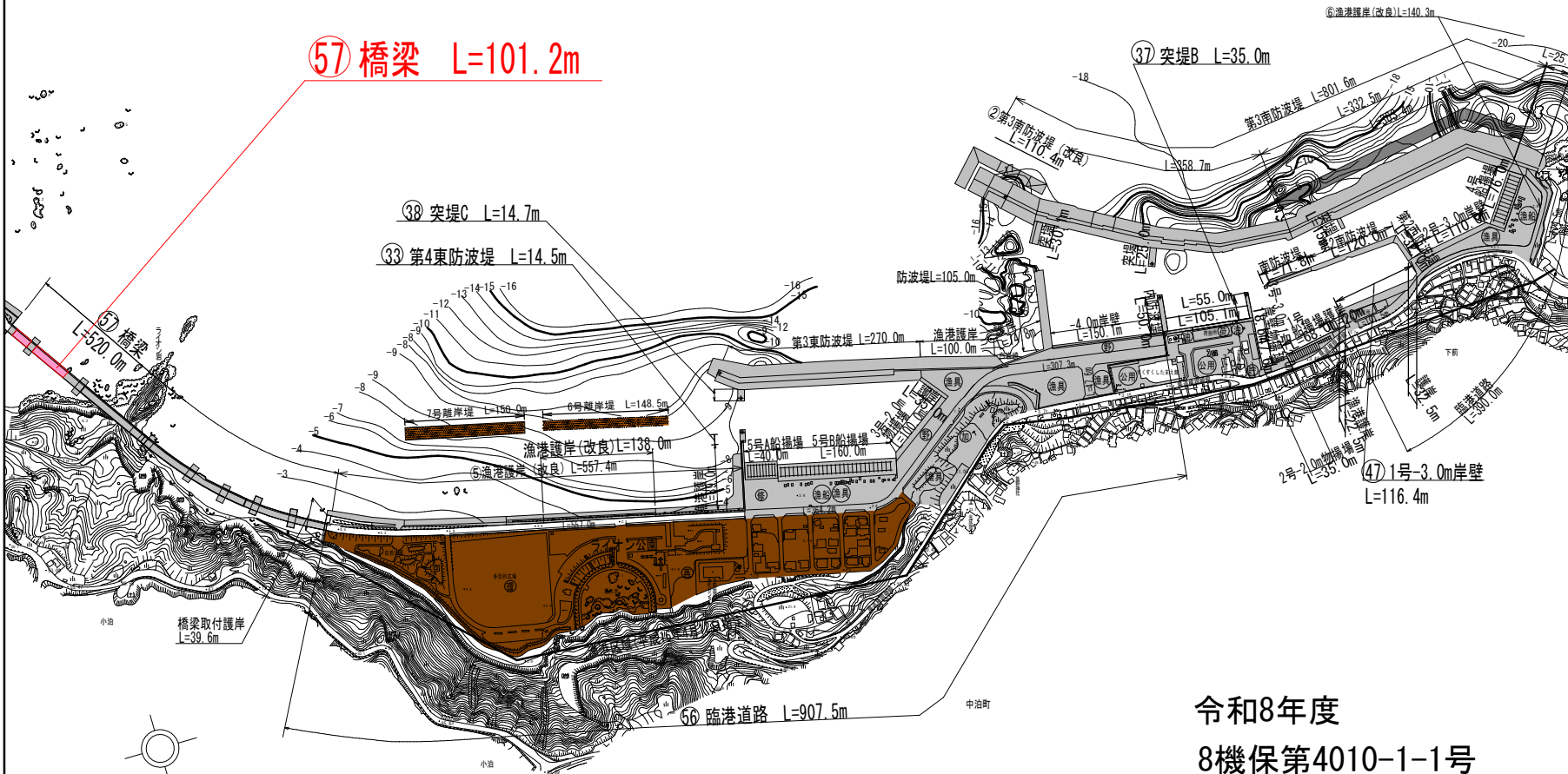
小泊漁港下前地区

漁港番号	種別	所管	事業主体	管理者	施行場所
1240010 (S. 26. 07. 10指定)	第4種	本土	青森県	青森県	北津軽郡中泊町大字小泊字下前

[保全工事の実施]

波浪方向
SW
Ho=9.3m
To=13.2m

57 橋梁 L=101.2m



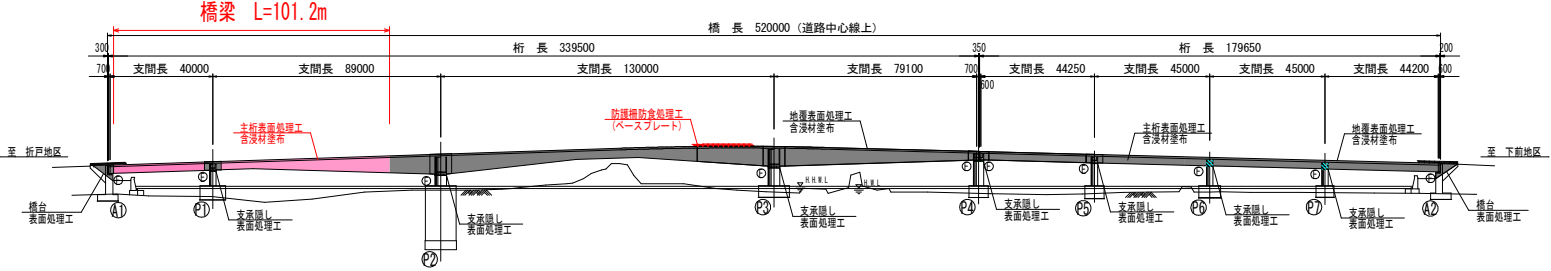
潮位図	
H. H. W. L.	+1.275
H. W. L.	+0.445
M. S. L.	+0.191
P. L. W. L.	+0.000
T. P.	-0.088
	-0.138
	(H30見直し)

凡例
施工箇所

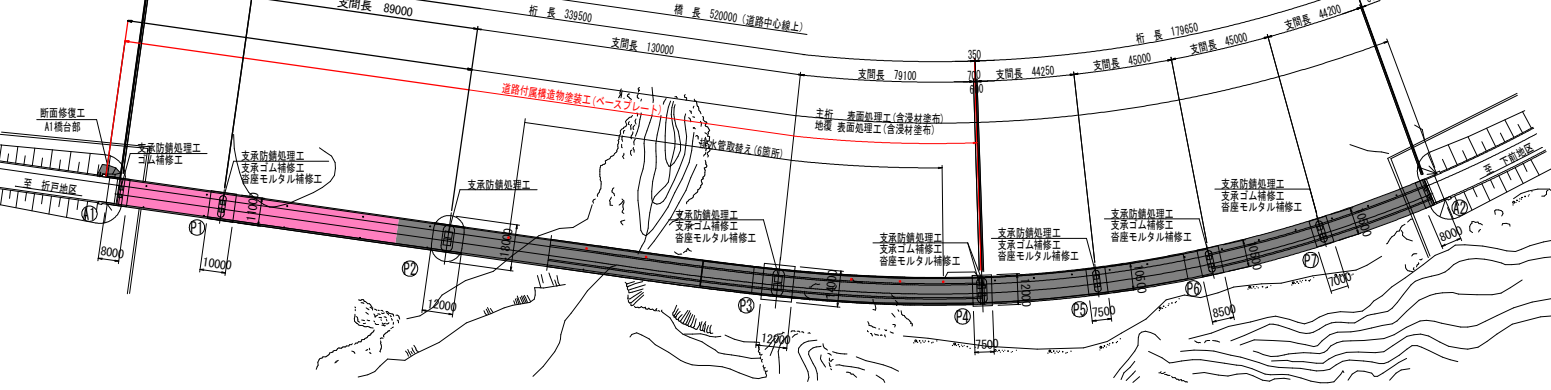
令和8年度
8機保第4010-1-1号
11 葉の内 1 号

補修計画一般図(1/2)

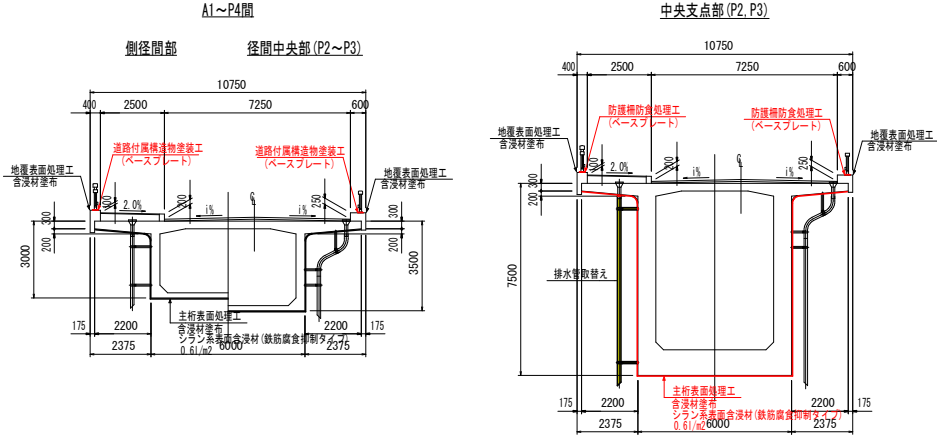
側面図 S=1:1000



平面図 S=1:1000



上部工断面図 S=1:100



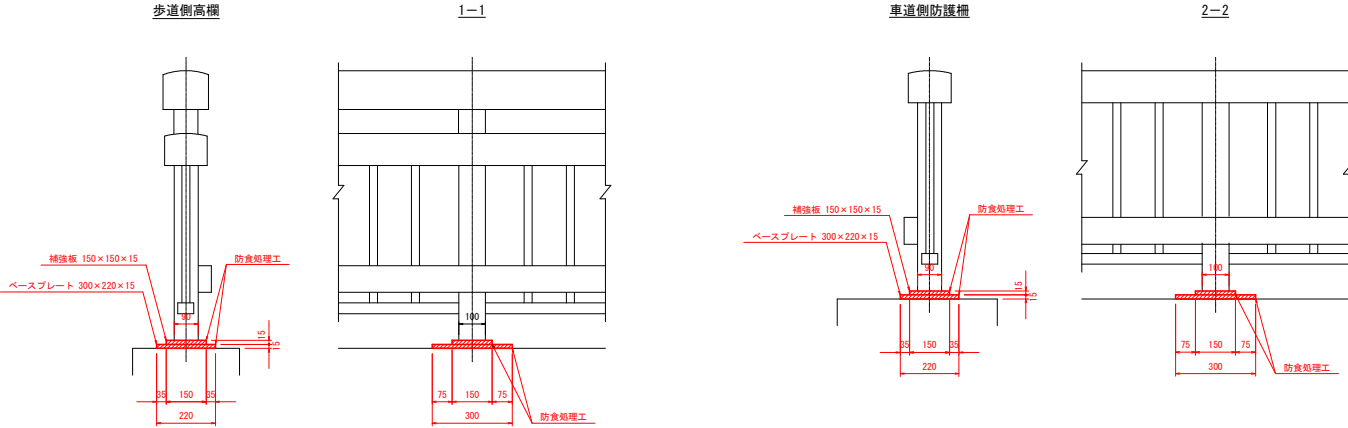
橋梁設計条件			
道路規格	第3種第4級 (設計速度 V=50km/h)		
計画交通量	大型交通量 500台/日・方向未満		
重要度の区分	8種の橋		
設計活荷重	B活荷重		
形式	上部工	244径間連続PC箱桁橋	
	下部工	橋台	逆T式
	基礎工	橋脚	小割型壁式
	橋脚	直線基礎	橋脚 ニューマチックケーソン、直線基礎
橋長	L=520,000m		
支間長	(40.00+89.00+130.00+79.10)+(44.25+45.00+45.00+44.20)m		
幅員	有効幅員 W=9.75m (2.50+0.50+6.00+0.75m)		
平面線形	R=∞~A=250~R=500m		
縦断勾配	3.30% 2.60% (V/L=80.00m, VCR=1400m)		
横断勾配	2.00% 2.00%~3.00%		
舗装	アスファルト舗装 (車道 t=70mm, 歩道 t=30mm)		
歩道間詰材	コンクリート		
支承	荷重分散ゴム支承		
雪荷重	Ws=100kg/m2		
風荷重	Wh=60kg/m		
活荷重	電力ケーブル		
使用材料	上部工	コンクリート	σck= 40N/mm2
		PC鋼材	12112.7 (SMP78) 鉄筋 S295A
	下部工	コンクリート	σck= 21N/mm2
		鉄筋	S295A
基礎工	コンクリート	σck= 21N/mm2	
	鉄筋	S295A	
基礎土砂	砂質土	γ=2.0tf/m3, φ=30°	
	砂質土		
架設工法	橋出し架設・吊出し架設		
支持層	軟弱 0~80tf/m2, qu≥100tf/m2		
地域区分	B地域 (補正係数 Cr=0.85)		
地震対策	対策区分1 (359年地震対策設計)		
供用年月	平成17年9月 (竣工) 平成15年8月 (当初設計図参考)		

橋梁補修工種			
地盤	ひび割れ注入工	ひび割れ充填工	断面修復工 表面処理工
主桁	ひび割れ注入工	ひび割れ充填工	断面修復工 表面処理工
排水施設	排水管取替工	(6箇所)	
防護欄	防食処理工	(ベースプレート)	
支承	防食処理工	ゴム補修工	資産モルタル補修工
橋台・橋脚	ひび割れ注入工	ひび割れ充填工	断面修復工 表面処理工
仮設	朝顔防護吊足場	単管足場	

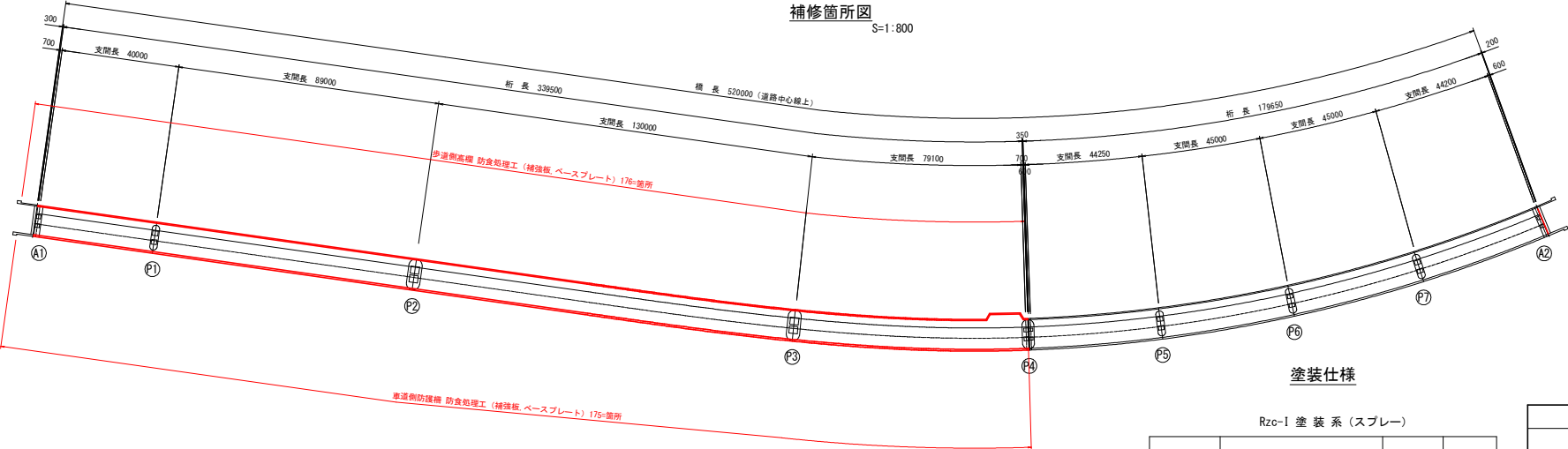
- (特記事項)
- 各工種は詳細図参照のうえ、現地確認および現地検測を行うこと。
 - コンクリート面の欠損および鉄筋露出面は、断面修復を行うこと。
 - コンクリート面のひび割れ箇所は、ひび割れ注入を行うこと。

防護柵・高欄防食処理図

防護柵・高欄防食処理工
S=1:10



補修箇所図
S=1:800



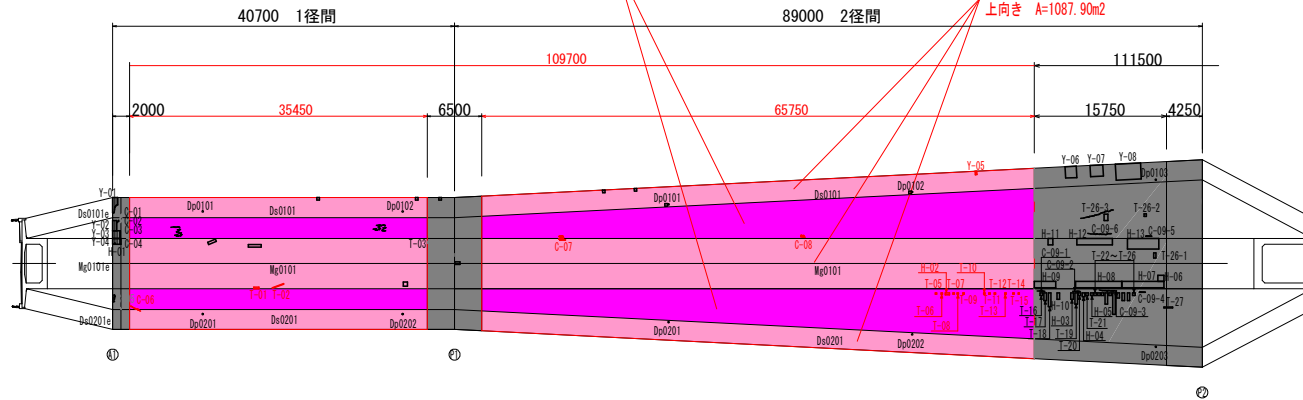
塗装仕様

R2c-1 塗装系 (スプレー)

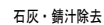
塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	1 種 ※		4時間以内
下 塗	亜鉛めっき用エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
中 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1日～10日
上 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	

注意事項
・塗装仕様は、県道路橋防食便覧（平成26年3月）に準拠し表のとおりとする。
・R2c-1系塗装の対象とする部材は、高欄兼用車両用防護柵及び車両用防護柵である。
※：素地調整程度1種であるが、プラスチックグレードは、ISO Sa1程度とする。
(特記事項)
1. 図中、詳細寸法等は、現地検測のうえ決定すること。

令和 8 年度
西北地区(小泊漁港) 水産物供給基盤機能保全工事
11 葉の内 3 号
防護柵・高欄防食処理図
縮 尺 図 示
青 森 県
8機保 第4010-1-1号

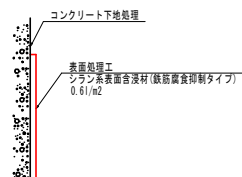


平面图

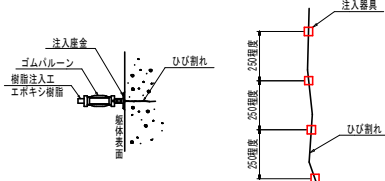
[illegible]ひび割れ幅 $C \geq 0.2\text{mm}$

ひび割れ注入工	ひび割れ幅(mm)	長さ(m)	備考	ひび割れ注入工	ひび割れ幅(mm)	長さ(m)	備考
C-02	0.300	0.400		C-25	0.300	0.400	
C-03	0.300	0.400		C-26	0.300	0.300	
C-04	0.200	0.400		C-27	0.300	0.400	
C-05	0.200	0.400		C-28	0.300	0.300	
C-06	0.300	0.350		C-29	0.300	0.300	
C-07	0.200	0.500		C-30	0.200	0.300	
C-08	0.300	0.500		C-31	0.300	0.300	
C-09	0.300	0.400		C-32	0.200	0.200	施工済
C-10	0.200	0.400		C-32-1	0.200	0.500	
C-11	0.300	0.400		C-33	0.300	0.200	※
C-12	0.200	0.200		C-34	0.400	0.300	※
C-13	0.200	0.200		C-34-1	0.200	0.450	※
C-14	0.200	0.300	施工済	C-34-2	0.200	0.350	※
C-15	0.200	0.250	※	C-35	0.200	0.300	※
C-16	0.300	0.400	※	C-36	0.300	0.200	※
C-17	0.300	0.400	※				
C-18	0.200	0.300	※				
C-19	0.200	0.400	※				
※※※※	※※※※	※※※※	ひび割れなし				
C-22	0.300	0.400	施工済				
C-23	0.200	0.300					
C-24	0.200	0.300					

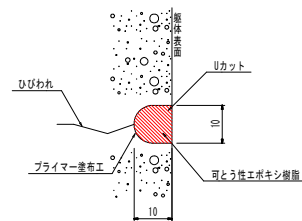
表面処理工詳細図



ひび割れ補修工詳細図
(低圧注入工法、ひびわれ幅0.2mm以上)



ひび割れ補修工詳細図
(Uカット充填工法、ひび割れ幅1.0mm以上)



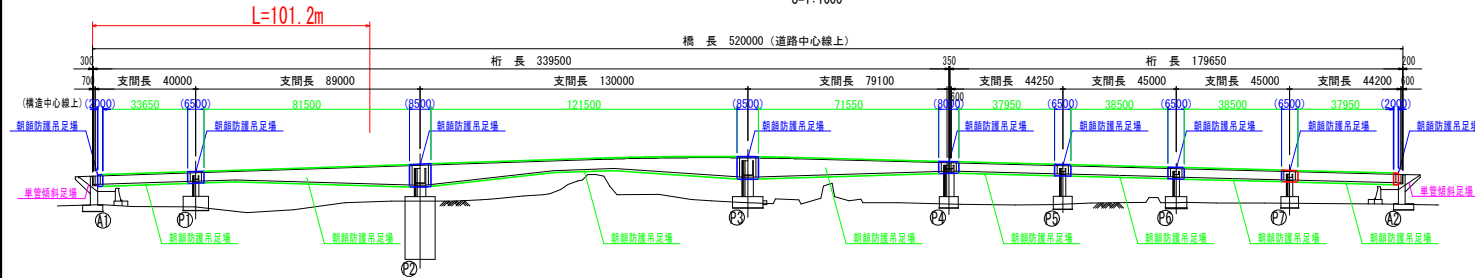
(特記事項)

1. 図中、詳細寸法等は、現地検測のうえ決定すること。
2. 補修箇所以外にひび割れがある場合は、ひび割れ注入を行うこと。
3. ひび割れ注入箇所において、補修後、表面処理工(シラン系表面含浸材、鉄筋露食抑制タイプ)を塗布すること。

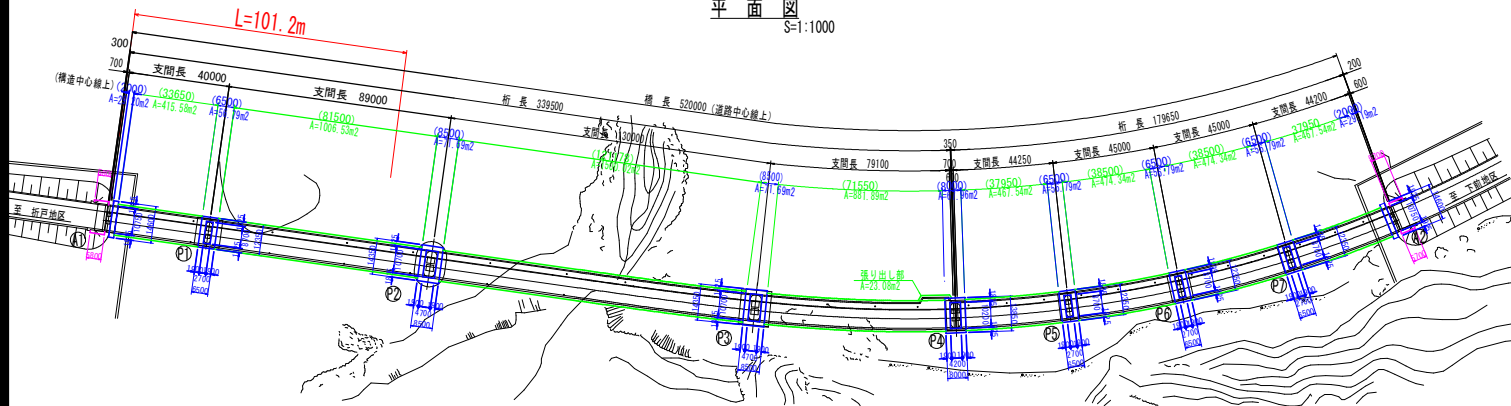
令和8年度
西北地区（小泊漁港） 水産物供給基盤機能保全工事
11 葉の内 5 号
地覆・緑石補修工図(1/4)
縮 尺 S=1:300
青 森 県
88保保 第4010-1-1号

施工計画図 参考図

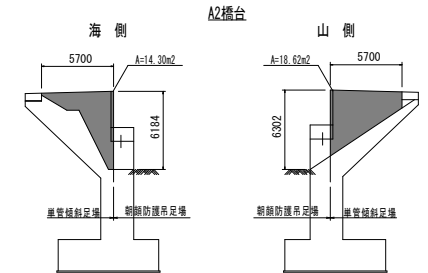
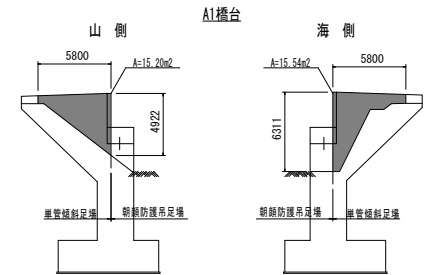
側面図
S=1:1000



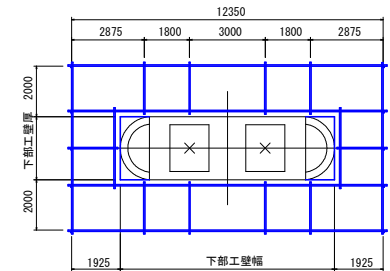
平面図
S=1:1000



橋台翼壁表面処理工足場
単管足場 S=1:200



平面図(橋脚)
S=1:100



下部工壁寸法表

	壁幅	壁厚
A 1	10750	1800
P 1	8500	2500
P 2	10500	4500
P 3	10500	4500
P 4	10000	4000
P 5	8500	2500
P 6	8500	2500
P 7	8500	2500
A 2	10750	1600

(特記事項)

1. 図中詳細寸法は、現地検測のうえ決定すること。
2. 新規チェーン房金具は作業終了後、撤去するものとする。但し、撤去不可能な場合は、塩害に考慮すること。

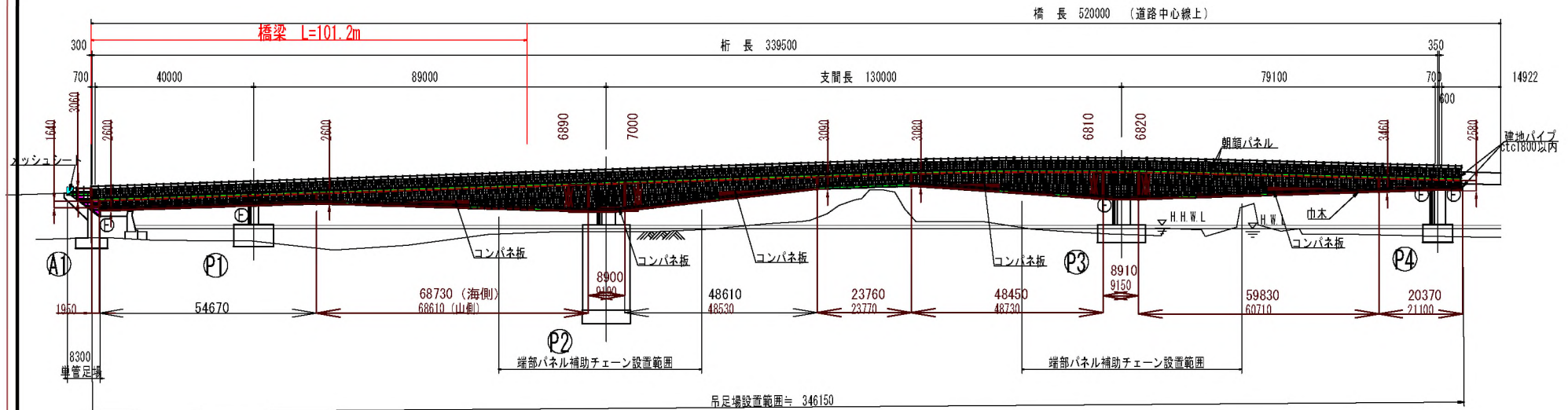
令和8年度
西北地区(小泊漁港)
水産物供給基盤機能保全工事
11 葉の内 6 号
足場参考図(1/4)
縮尺 図示
青森県
8機保 第4010-1-1号

ライオンベイブリッジ 補修用足場仮設図

側面図 S=1:1000

至 折戸地区

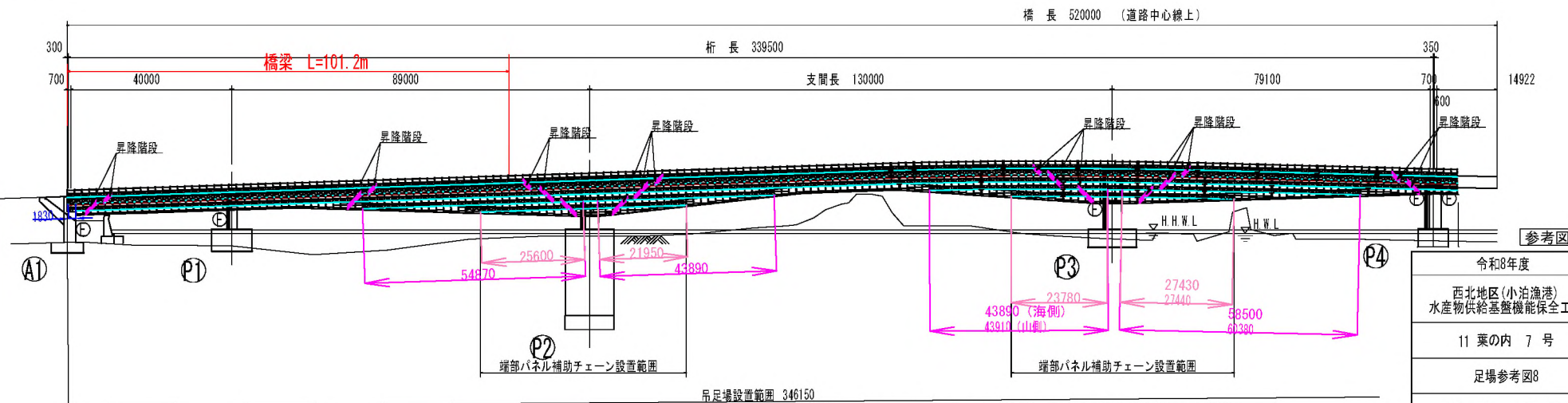
至 下前地区



側面図(アルバトロス部分) S=1:1000

至 折戸地区

至 下前地区



※図面と現況が異なり、足場形状が変更になる場合は図面はあくまで参考とし、現場合わせを優先とする

※補強チェーン・アンカー(etc1320以内)の設置目安は下段パネルの端部に
乗るアルバトロス足場の作業床が3段以上になる部分を目安とする
※壁つなぎの設置間隔は2層1m² (H3600×L1829) 以内とする

参考図

令和8年度

西北地区(小泊漁港)
水産物供給基盤機能保全工事

11 葉の内 7 号

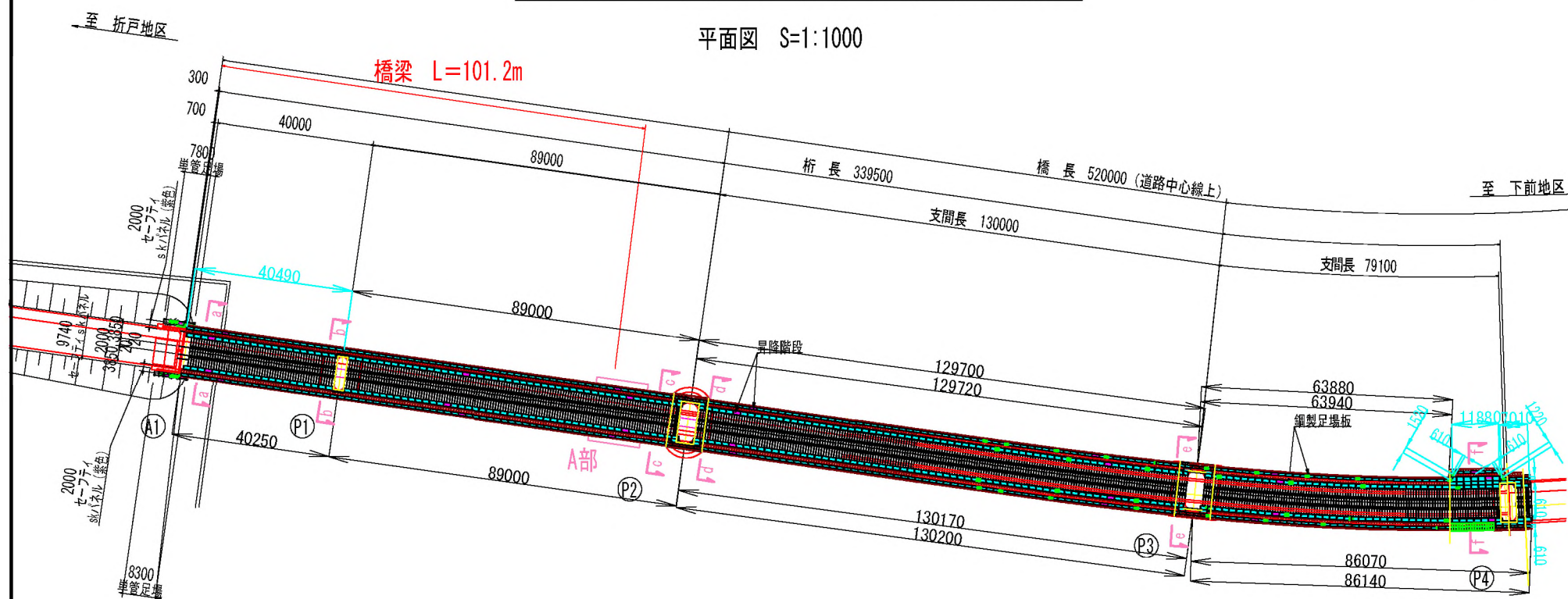
足場参考図8

縮尺 図示

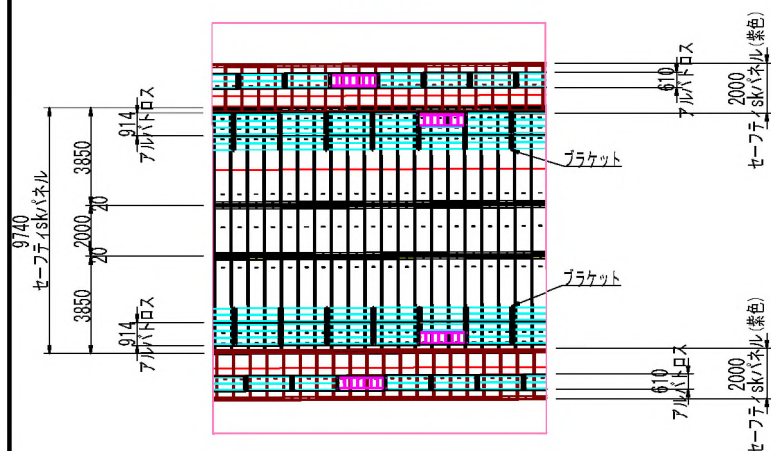
青森県

8機保 第4010-1-1号

橋梁 $L=101.2\text{m}$



A部詳細図


$$0.61 \times 40.49 = 24.70 \text{ m}^2$$
$$0.61 \times 40.25 = 24.55 \text{ m}^2$$
$$0.61 \times 89.00 = 54.29 \text{ m}^2$$
$$0.61 \times 89.00 = 54.29 \text{ m}^2$$

合計 = 157.83 m²

※図面と現況が異なり、足場形状が変更になる場合は図面はあくまで参考とし、現場合わせを優先とする

$$157.83 - 27.21 = 130.62\text{m}^2$$

参 考 文 献

令和8年度

水產物供給基盤機能保全工事
西北地区(小泊漁港)

11 葉の内 8 号

足場参考図11

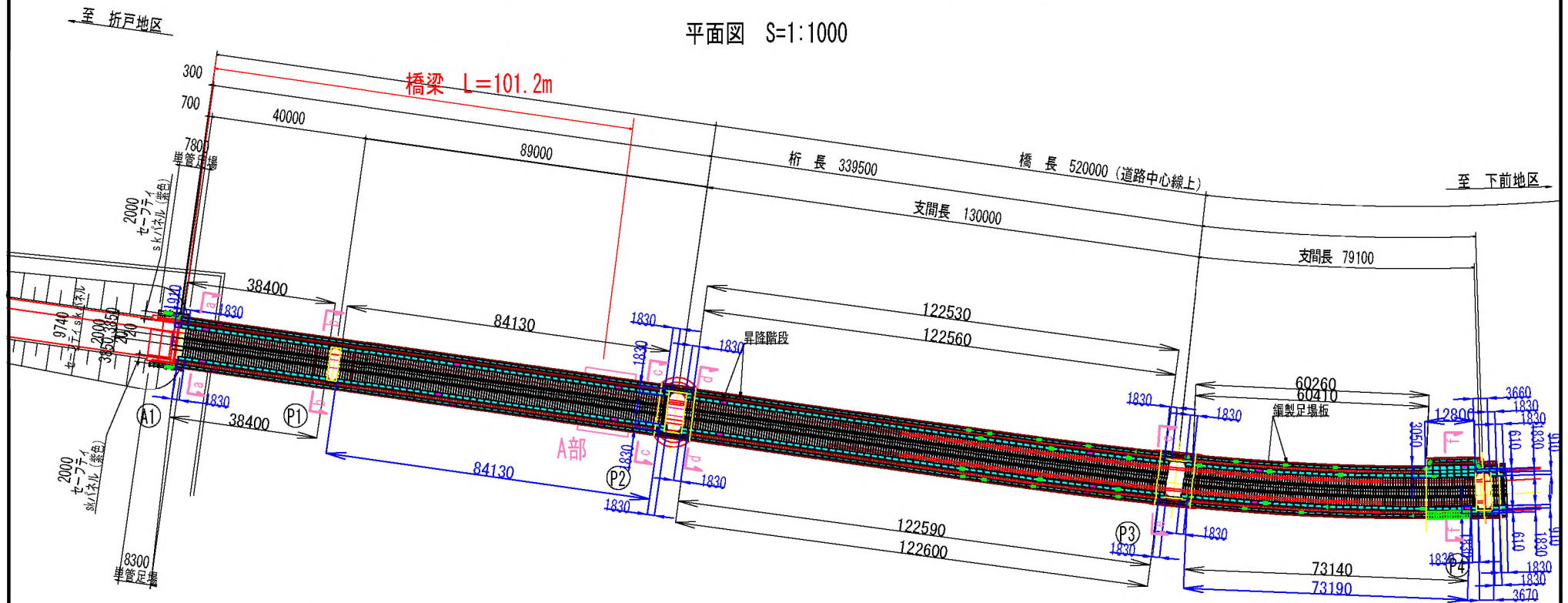
縮尺 図示

青森県

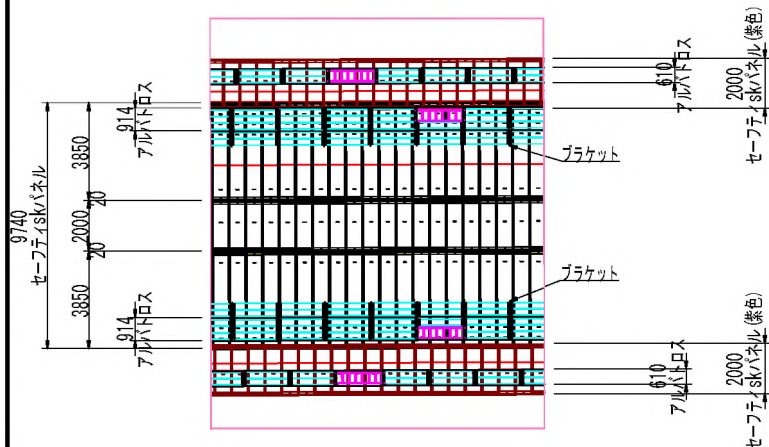
ライオンベイブリッジ 補修用足場仮設図

No. 5

平面図 S=1:1000



A部詳細図



2 段目中段足場面積

$$0.91 \times 38.40 = 34.94 \text{ m}^2$$

$$0.91 \times 38.40 = 34.94 \text{ m}^2$$

$$0.91 \times 84.13 = 76.56 \text{ m}^2$$

$$0.91 \times 84.13 = 76.56 \text{ m}^2$$

$$\text{合計} = 223.00 \text{ m}^2$$

$$223.00 - 28.67 = 194.33 \text{ m}^2$$

$$\text{2 段目中段足場面積} = 194.33 \text{ m}^2$$

$$\text{3 段目中段足場面積} = 194.33 \text{ m}^2$$

※図面と現況が異なり、足場形状が変更になる場合は
図面はあくまで参考とし、現場合わせを優先とする

参考図

令和8年度

西北地区(小泊漁港)
水産物供給基盤機能保全工事

11 業の内 9 号

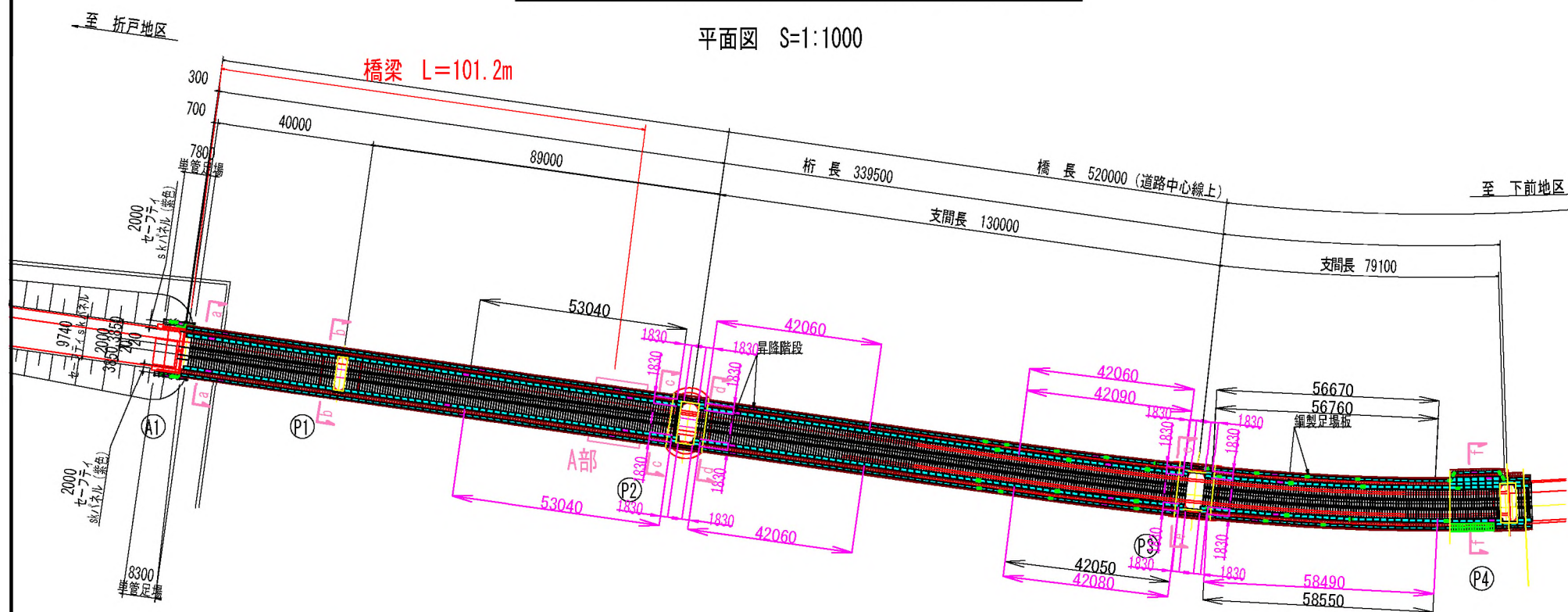
足場参考図12

縮尺 図示

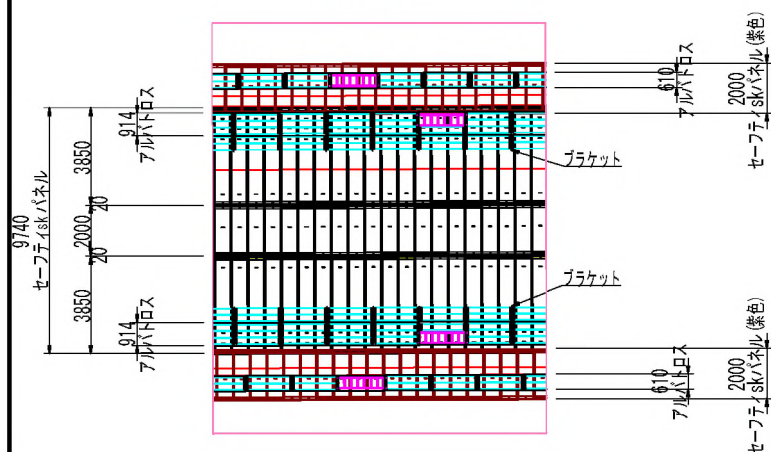
青森県

3機係 第4010-1-1号

橋梁 $L=101.2\text{m}$



A部詳細図


$$0.91 \times 53.04 = 48.27 \text{ m}^2$$
$$0.91 \times 53.04 = 48.27 \text{ m}^2$$

合計 = 96.54 m²

$$96.54 - 28.67 = 67.87 \text{ m}^2$$

※図面と現況が異なり、足場形状が変更になる場合は
図面はあくまで参考とし、現場合わせを優先とする

参 考 文 献

令和8年度

西北地区(小泊漁港)
水産物供給基盤機能保全工事

11 葉の内 10 号

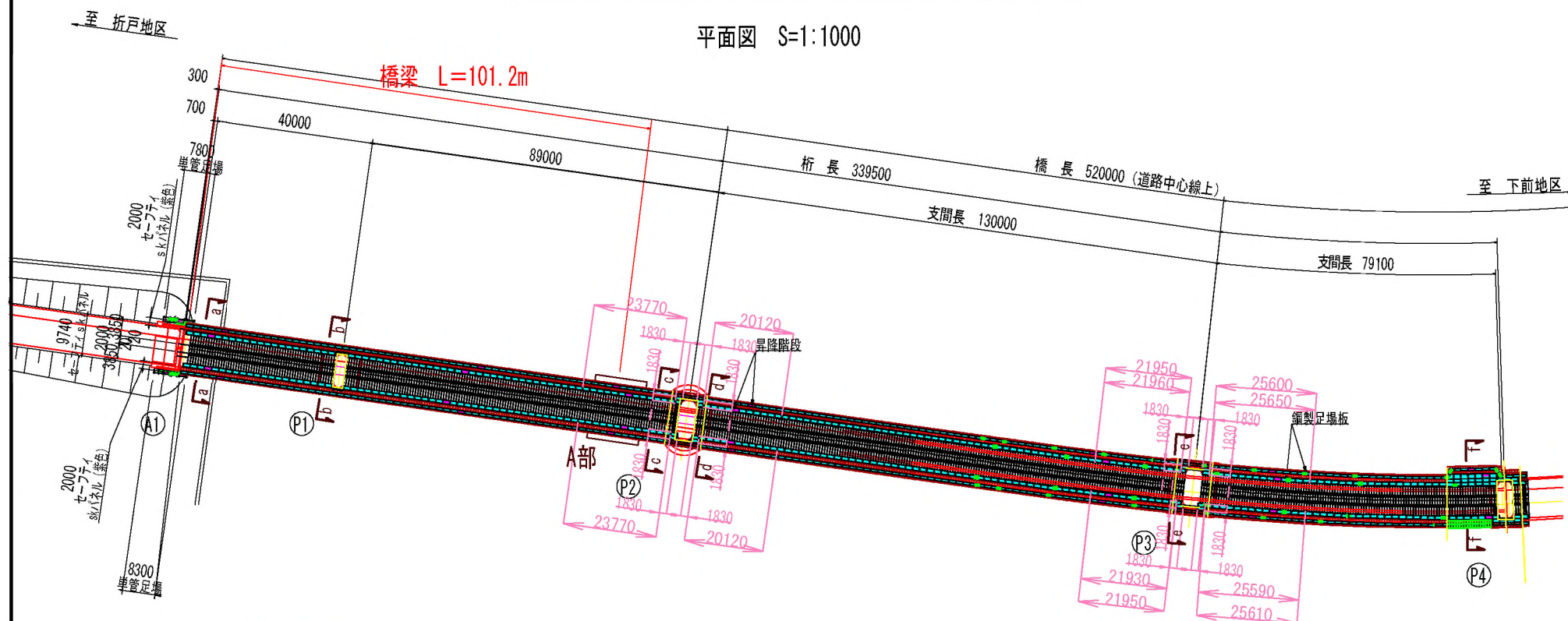
足場参考図13

縮尺 図示

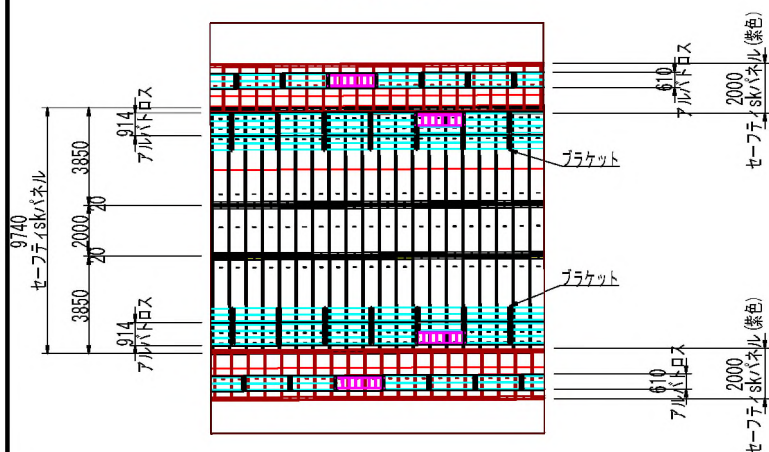
青森県

ライオンベイブリッジ 補修用足場仮設図

平面図 S=1:1000



A部詳細図



中段足場合計

$$130.62 + 194.33 + 194.33 \\ + 67.87 + 14.59 = 601.74 \text{ m}^2$$

5段目中段足場面積

$$0.91 \times 23.77 = 21.63 \text{ m}^2$$

$$0.91 \times 23.77 = 21.63 \text{ m}^2$$

$$\text{合計} = 43.26 \text{ m}^2$$

$$43.26 - 28.67 = 14.59 \text{ m}^2$$

※図面と現況が異なり、足場形状が変更になる場合は
図面はあくまで参考とし、現場合わせを優先とする

参考図

令和8年度

西北地区(小泊漁港)
水産物供給基盤機能保全工事

11 葉の内 11 号

足場参考図14

縮尺 図示

青森県

3機庫 第4010-1-1号